



2021年11月17日
早稲田大学

Press Release 取材のご案内

配布先：文部科学記者会、報道各社社会部・文化部

早稲田大学 GS センター講演会 『絶対恋愛になる世界 vs 絶対恋愛にならない私 — A ロマンティック A セクシュアル —』 取材のご案内

早稲田大学 GS センター（東京都新宿区、以下 GS センター）* は、2021 年 12 月 4 日（土）に、最近ドラマでも扱われるようになってきた A スペクトラム（他者に対して性的/恋愛的に惹かれない、またはそれが条件つきで生じることを前提とした指向の総称）に関するオンラインイベントを実施します。社会における規範（恋愛伴侶/恋愛至上主義/異性愛など）について、A スペクトラムの観点から、自分とは関係のない誰かだと考えている人も含め「みんな」で一度立ち止まって問い直します。

主催：早稲田大学 GS センター

2021. 12. 4. Sat. 14:00

会場 ▶ Zoom ウェビナー
対象 ▶ 早大生 教職員 一般
定員 ▶ 500 名
要予約 無料

社会における規範（恋愛伴侶/恋愛至上主義/異性愛 etc...）について、A スペクトラム®の観点から、みんなで一度立ち止まって問い直してみませんか？

※画像に対して性的/恋愛的に惹かれない、またはそれが条件つきで生じることを前提とした指向の総称で、A スペクトラム®は A ロマンティック A セクシュアルの総称であり、A スペクトラム (A-spec) と略される。

登壇者

平森 大規 氏
—ワシントン大学大学院社会学研究科
クィア・フェミニズム理論の視点から、セクシュアリティ・ジェンダーに基づく階層・不平等や性的マイノリティ人口について計量的手法を用いて研究。「Ace/Aro Scholars Support Network」創設メンバーのひとり。

藤彌 葵実 氏
島根県邑南町役場勤務。セクシュアリティは A ジェンダー・アロマンティック・アセクシュアル・クエスチョニング。

mina 氏
—アートディレクター、デザイナー
紆余曲折を経て A ロマンティック（無性愛者）を自認。同性のパートナーとは親友で大の仲良し。

申込方法 右記 QR コードからお申し込みください。
申込締切：12月1日（水）
詳細：https://www.waseda.jp/irok/gpcenter/news/2021/10/19/2021/

多事ご繁忙の折とは存じますが、ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 開催日 2021年12月4日（土）
- 時間 14:00～15:30 ※13:50 より入室できます
- 対象 早大学生・教職員、一般
- 費用 無料
- 言語 日本語（手話通訳あり）
- 主催 早稲田大学 GS センター
- 実施方法 ZOOM ウェビナーによるオンライン開催

* 早稲田大学 GS センターは、早稲田大学のセクシュアルマイノリティ学生およびその支援者のホーム



グラウンドであるとともに、ジェンダー・セクシュアリティに関心のある全ての人々が自由に利用できるフリースペースです。

【GSセンターWeb サイト】 <https://www.waseda.jp/inst/gscenter/>

取材申込にあたっての注意事項

① まず以下の Web ページをご覧ください、「[参加申請フォーム](#)」よりお申込みください。

【イベント Web ページ】 <https://www.waseda.jp/inst/gscenter/news/2021/10/20/5227/>

② ご所属、お名前、取材目的や取材対象者（登壇者への個別取材も含む）などをご記入の上、

「gsstaff@list.waseda.jp」までメールにてご連絡ください。

※記事掲載にあたっては、掲載内容および掲載画像について、講師全員および GS センターの事前確認が必要です。

<本イベントに関するお問合せ>

早稲田大学 GS センター 担当（神林） TEL: 03-3204-4607 E-mail: gsstaff@list.waseda.jp

イベント開催背景・概要

私たちのなかには、他者に対して恋愛的/性的に惹かれない（または、その度合いが低い）人もいます。そしてもちろん、そのなかには、他者との交際関係や性的関係を望む人も、その相手が異性ではない人もいます。—これを聞いて、“それは自分とは関係のない誰かだ”と感じた人もいるかもしれません。

しかし、“好き” “付き合う”などの一元的にパッケージされた言葉のなかを覗いてみればきっと、各人の考えるその需要や内訳、そして恋愛的/性的に他者に惹かれる“度合い”は互いに「全く一緒」とはいかないはず。社会における規範（恋愛伴侶/恋愛至上主義/異性愛 etc…）について、A スペクトラムの観点から、みんなで一度立ち止まって問い直してみませんか？

「絶対恋愛になる世界 vs 絶対恋愛にならない私—A ロマンティック A セクシュアル—」と題した本イベントでは、A スペクトラムを自認する当事者の方 2 名とワシントン大学大学院社会学研究科にて研究をされている平森大規さんをゲストにお招きして、個人的な体験とアカデミックな知識の観点を踏まえたパネルディスカッションを行います。属性問わず、皆様のご参加をお待ちしております。

【用語解説（企画者訳）】

◆ **A セクシュアル**：性的魅力や性的関係を持ちたいという本質的な欲求を感じない人を指す。

([Asexual Visibility and Education Network](#))

◆ **A ロマンティック**：一般的に、他者に対して恋愛的に全く、またはほとんど惹かれない人のことを指す。([AROMANTIC-SPECTRUM UNION FOR RECOGNITION, EDUCATION, AND ADVOCACY](#))



- ◆ **A スペクトラム** : 他者に対して性的/恋愛的に惹かれない、またはそれが条件つきで生じることを前提とした指向の総称で、A ロマンティックスペクトラムと A セクシュアルスペクトラムがあり、A スペクトラム (A-spec) と略される。 ([AROMANTIC-SPECTRUM UNION FOR RECOGNITION, EDUCATION, AND ADVOCACY](#))

【イベント内容／スケジュール】

＜第一部＞ 知識編：個人ワーク、基礎知識の説明

平森 大規 氏 (ワシントン大学大学院社会学研究科)

＜第二部＞ パネルディスカッション

藤彌 葵実 氏、mina 氏 (アートディレクター、デザイナー)

平森 大規 氏 (ワシントン大学大学院社会学研究科)

テーマ① : Aro (or/and) Ace としてのセクシュアリティの自認に至った経緯

テーマ② : 人と関わる上で困ったこと・トラブルと個人的対処

テーマ③ : 規範について考えること・今後への期待

テーマ④ : どこにでも存在する当事者のために Ally ができること

＜質疑応答・クロージング＞

以上